



## SIP 付加サービスの使用

SIP 付加サービスを使用すると、電話サービスを拡張することができます。これらのサービスには、コール転送、リダイヤル、コール転送、会議通話などがあります。

### 一般的な付加サービス

ここで説明する付加サービスとその設定および実装は、該当するサービスを使用する国によって異なります。各国でのサービス実装については、最寄りのシスコ機器プロバイダーにお問い合わせください。

ここでは、次の内容について説明します。

- [在席転送 \(6-2 ページ\)](#)
- [コール ピックアップ \(6-2 ページ\)](#)
- [発信者 ID \(6-2 ページ\)](#)
- [コール ウェイティング発信者 ID \(6-2 ページ\)](#)
- [コール保留 \(6-3 ページ\)](#)
- [グループ コール ピックアップ \(6-3 ページ\)](#)
- [ミーティング会議 \(6-3 ページ\)](#)
- [プライバシー \(6-3 ページ\)](#)
- [共有回線 \(6-4 ページ\)](#)
- [スピードダイヤル \(6-4 ページ\)](#)
- [リダイヤル \(6-4 ページ\)](#)
- [自動転送 \(6-4 ページ\)](#)
- [ボイス メール表示 \(6-5 ページ\)](#)
- [ボイス メッセージ システム \(6-5 ページ\)](#)
- [電話会議の実行 \(米国の場合\) \(6-5 ページ\)](#)
- [電話会議の実行 \(スウェーデンの場合\) \(6-6 ページ\)](#)
- [コール ウェイティング \(米国の場合\) \(6-6 ページ\)](#)
- [コール ウェイティング \(スウェーデンの場合\) \(6-6 ページ\)](#)
- [コール転送について \(6-6 ページ\)](#)

- [米国モードの不在転送\(6-7 ページ\)](#)
- [スウェーデン モードの不在転送\(6-7 ページ\)](#)

## 在席転送

この機能を使用すると、ユーザは別の電話番号に既存のコールを転送できます。その際、ダイヤル先の了承を得てから電話を切ります。在席転送を行うには、次の手順を実行します。

### 手順

- 
- 手順 1** アナログ電話機のハンドセットのフラッシュ ボタンを押して、相手との通話を保留状態にすると、ダイヤル トーンが聞こえます。
- 手順 2** 既存の通話の転送先となる電話番号をダイヤルします。
- 手順 3** 呼び出し先が電話に応答したら、その相手の了承を得てから電話機のハンドセットを置くことで、既存の通話を転送できます。
- 

## コール ピックアップ

自分のコール ピックアップ グループ内の別の電話機で鳴っているコールに応答できます。コール ピックアップ機能を使用するには、次の手順を実行します。

### 手順

- 
- 手順 1** 電話機のハンドセットを取り上げます。
- 手順 2** **\*\*3** を押します。
- 

## 発信者 ID

電話機の呼出音が鳴るとき、ATA 190 は 1 回目と 2 回目の呼出音の間に、発信者 ID 信号をその電話機に送ります(名前、電話番号、時間、日付の情報が使用可能な場合には、それも一緒に送られます)。

## コール ウェイティング発信者 ID

ATA 190 はコール待機トーンを鳴らし、最初のトーン バーストの直後にオフフック発信者 ID 信号を電話機に送信します。

名前、電話番号、時刻、日付の情報が使用可能な場合には、それも一緒に ATA 190 によって送信されます。

## コール保留

この機能を使用すると、ユーザはアクティブな通話を保留状態にすることができます。

## グループ コール ピックアップ

次の方法で、自分のコール ピックアップ グループ外にある電話機でコールに応答できます。

- グループ ピックアップ番号を使用する
- 呼び出し中の電話機の番号をダイヤルする

グループ コール ピックアップ機能を使用するには、次の手順を実行します。

### 手順

- 
- 手順 1 電話機のハンドセットを取り上げます。
  - 手順 2 **\*\*4**、グループ ID、# の順に押します。
- 

## ミーティング

この機能を使用して、ユーザはミーティングを開始できます。ミーティングでは、他の参加者が予定の時刻に、あらかじめ決められた番号に電話をかけます。ミーティングを行うには、次の手順を実行します。

### 手順

- 
- 手順 1 電話機のハンドセットを取り上げます。
  - 手順 2 **\*\*5**、ルーム ID、# の順に押します。
  - 手順 3 他の参加者は、会議番号に直接ダイヤルしてミーティングに参加できます。
- 

## プライバシー

この機能は、ユーザがコールに自分を追加することを禁止します。プライバシー機能を有効または無効にするには、次の手順を実行します。

### 手順

- 
- 手順 1 電話機のハンドセットを取り上げます。
  - 手順 2 プライバシー機能を有効にするには、通話がアクティブ状態のときに **\*\*8** を押します。
  - 手順 3 プライバシー機能を無効にするには、通話がアクティブ状態のときに **\*\*9** を押します。
-

## 共有回線

この機能を使用すると、ユーザは複数の電話機で同じ電話番号を共有したり、1 つの電話番号を同僚と共有したりできます。

この機能により、電話回線が既存のコールに割り込むことができます。

- 自動割り込みがイネーブルの場合、オフフックによって C 割り込みがトリガーされます。
- 自動割り込みがディセーブルの場合、「\*\*6」を押すと、C 割り込みがトリガーされます。

## スピードダイヤル

この機能を使用すると、ユーザは事前に割り当てたインデックスコード(\*1 ~ \*199)を電話機のキーパッドに入力することで、電話番号をすばやくダイヤルできます。

## リダイヤル

ユーザが \*# ボタンを押すと、最後にダイヤルした電話番号に発信できます。

## 自動転送

この機能を使用すると、ユーザは既存のコールを別の電話番号に転送できます。その際、ダイヤル先の相手が応答するのを待たずに電話を切ることができます。自動転送を行うには、次の 2 つの方法があります。

- [半自動転送\(6-4 ページ\)](#)
- [完全自動転送\(6-5 ページ\)](#)

### 半自動転送

半自動転送を行うには、次の手順を実行します。

#### 手順

- 
- 手順 1 アナログ電話機のハンドセットのフラッシュ ボタンを押して、相手との通話を保留状態にすると、ダイヤル トーンが聞こえます。
  - 手順 2 通話の転送先となる電話番号をダイヤルします。
  - 手順 3 リングバックトーンが少なくとも 1 回鳴った後、電話を切ると通話相手が転送されます。
-

## 完全自動転送

完全自動転送を行うには、次の手順を実行します。

### 手順

- 
- 手順 1 アナログ電話機のハンドセットのフラッシュ ボタンを押して、相手との通話を保留状態にすると、ダイヤル トーンが聞こえます。
  - 手順 2 電話機のキーパッドで **#90**(転送サービス アクティベーション コード)を押してから、通話の転送先となる電話番号を入力し、最後に **#** を押します。
  - 手順 3 電話を切ります。
- 

## ボイス メール表示

この機能を使用すると、ユーザのボイス メール ボックスに新規メッセージがある場合、ATA 190 は断続的なトーンを再生します。

## ボイス メッセージ システム

この機能を使用すると、発信者は、コールに対する応答がない場合や受信者が音声メッセージにアクセスする場合にメッセージを残すことができます。ボイス メッセージング システムを利用するには、次の手順を実行します。

### 手順

- 
- 手順 1 電話機のハンドセットを取り上げます。
  - 手順 2 **\*0** を押します。
- 

## 電話会議の実行(米国の場合)

### 手順

- 
- 手順 1 最初の電話番号をダイヤルします。
  - 手順 2 呼び出し先が応答したら、電話機ハンドセットのフック フラッシュを実行します。この操作により、最初の呼び出し先が保留状態になり、ダイヤル トーンが聞こえます。
  - 手順 3 2 番目の参加者に電話して、相手が応答したら、通常の方法で通話します。
  - 手順 4 両方の参加者との間で同時に会議を行うには、フック フラッシュを実行します。
-

## 電話会議の実行(スウェーデンの場合)

### 手順

- 
- 手順 1 最初の電話番号をダイヤルします。
  - 手順 2 呼び出し先が応答したら、電話機ハンドセットのフック フラッシュを実行します。この操作により、最初の呼び出し先が保留状態になり、ダイヤル トーンが鳴ります。
  - 手順 3 2 番目の参加者に電話して、相手が応答したら、通常の方法で通話します。
  - 手順 4 フック フラッシュを実行し、電話機のキーパッドで **2** を押すと最初の通話相手に戻ります。2 人の通話者の間を交互に切り替えることができます。
  - 手順 5 両方の通話者との間で同時に会議を行うには、フック フラッシュを実行してから、電話機のキーパッドで **3** を押します。3 人の通話者全員との会議が始まった後、ある通話者を除外する唯一の方法は、その通話者が電話を切ることです。
- 

## コール ウェイティング(米国の場合)

電話で通話中に誰かが電話をかけてきた場合、その電話に応答するには、フック フラッシュを行います。3 人の通話者全員で会議を開始することはできません。

## コール ウェイティング(スウェーデンの場合)

電話で通話中に誰かが電話をかけてきた場合、その電話に応答するには、フック フラッシュを実行した後に電話機のキーパッドで **2** を押します。あるいは、フック フラッシュを実行し、しばらくして通話中に **3** を押すと、会議通話が開始されます。

フックフラッシュを実行した後で **1** を押すと、最初の相手との通話が切断されて、2 番目のコールに応答します。1 分経過しても応答がない場合、発信者はビジー信号を受け取ります。

スウェーデンでコール ウェイティングを有効にするには、ATA190 の設定 Web ページに移動し、[Call Sequence] を [ETSI FSK for Sweden] に変更してください。



(注) ETSI モードの場合、ユーザは会議サービスを開始するのではなく、コール ウェイティングに応答する必要があります。コール ウェイティングがある場合、ユーザは通話会議サービスを直接起動できません。

## コール転送について

ATA 190 は、不在転送、話中転送、無応答時転送の 3 つのコール転送タイプをサポートしています。

この機能は、Cisco Unified Communications Manager の設定によって実装されます。管理者は、Cisco Unified CM で転送先を設定して、コール転送のタイプと接続先を指定できます。その後、Cisco Unified CM では、SIP INVITE メッセージを配信せずに着信コールを設定された回線に転送します。

ATA 190 は、機能コードの後にコール転送の接続先をダイヤルして、不在転送をアクティブ化/非アクティブ化できます。

## 米国モードの不在転送

### 無条件転送

電話機のキーパッドで **#72** を押し、コールの転送先となる番号を入力した後、もう一度 **#** を押します。

### コール転送のキャンセル

コール転送をキャンセルするには、電話機のキーパッドで **#73** を押します。

## スウェーデンモードの不在転送

### 無条件転送

電話機のキーパッドで **\*21\*** を押し、コールの転送先となる番号を入力した後、**#** を押します。キャンセルするには、**#21#** を押します。

